担　当　講　座

テーマ№1	全知の語り手（narrator）は信用できるか
内　　容	「全知の語り手」はどこまで信用できるだろうか。我々読者は、小説を読んでいるといわゆる「全知の語り手」に出会うことがある。この「全知の語り手」は、物語世界内で起こる出来事だけでなく登場人物の心の中の動きにいたるまであらゆる情報を神のような有利な視点から我々読者に解説するという役割を担っているだけでなく、語り手としての自分の存在を隠そうともせず、ずかずかと物語の中に踏み込んできて登場人物や人生について主観的注釈を述べさえする。今回は、小説『テス』を例にとって、このような「介入的な、全知の語り手」について考えてみたい。